

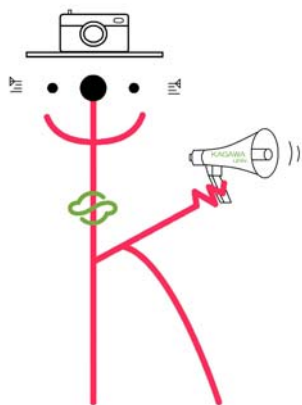
平成21年3月11日

外来生物モニタリングプログラム講演・報告

本プログラムは、外来生物問題について講演を通じて学ぶとともに、讃岐のフィールドで外来生物の侵入状況や生態系への影響を調査し、この問題を身近な環境問題であることを理解し、その解決策を主体的に考え実行できるモニタリングリーダーの養成を目的としています。

今回の講演会・報告会では、今年度香川県で実施したモニタリングの報告とともに、外来生物の駆除を現場で実践されている方々にご講演いただきます。参加費無料ですので、ふるってご参加ください。

1. 日時 2009年3月14日(土) 13:00~17:00
2. 会場 香川県社会福祉総合センター (7階 大会議室)
3. 内容
13:00-13:05 趣旨説明 伊藤文紀(香川大学 農学部)
13:05-14:05 講演-1 荻部治紀(神奈川県立生命の星・地球博物館)
「外来生物による在来生態系への影響と駆除対策の実践例
—小笠原と水域を例にして—」
14:10-15:00 報告 小林 剛 (香川大学 農学部)
「森林の温暖化抑制能に注目した香川県における竹林研究」
溝口宙矢 (香川大学 農学部)
「香川県におけるアルゼンチンアリの侵入モニタリング」
コメンテーター:五箇公一(環境研)
15:10-16:10 講演-2 鈴木重雄(立命館大学文学部地理学教室)
「竹林利用の変遷とモウソウチク林の拡大」
亀山 剛(復建調査設計株式会社)
「アルゼンチンアリ一斉防除の現状と課題」
16:10- 総合討論
4. 参加費 無 料
5. 主 催 香川大学 農学部



- 問い合わせ先
香川大学 農学部 〒761-0795 木田郡三木町大字池戸 2393
伊藤文紀 TEL : (087) 891-3146
MAIL : ito@ag.kagawa-u.ac.jp
小林 剛 TEL : (087) 891-3149
MAIL : t-koba@ag.kagawa-u.ac.jp